

# 安城市内景況調査結果 (平成30年4月～6月)

< 全産業において依然として人手不足が続く見通し >

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 103企業

2. 調査対象時期 平成30年4～6月期

(1)前年同期(平成29年4～6月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成30年7～9月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	22	23	19	39	103
構成比	21.4%	22.3%	18.4%	37.9%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、△15.5ポイントとなった。業況判断の前回実績(△7.7)と比較すると7.8ポイントの減少であった。来期の雇用人員においては、全産業ともに人手不足の状態が続いていく見通しである。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△7.7	△15.5	△8.8
売上高	△7.8	△14.6	△4.9
売上単価	△17.4	△7.7	△1.9
資金繰り	△2.9	△8.7	△4.8
借入難度	6.8	△2.0	△3.0
収益状況	△14.6	△27.1	△14.5
雇用人員	△50.5	△42.7	△38.9

凡例▶

30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全産業									
		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業			
前年同期対比	業況判断	△15.5		△13.7		△17.4		0		△23.1	
	売上高	△14.6		△0.1		△4.4		△26.3		△23.1	
	売上単価	△7.7		△4.6		△43.0		△5.2		△12.8	
	資金繰り	△8.7		△9.1		△8.7		15.8		△20.6	
	借入難度	△2.0		△13.7		△21.7		31.6		△5.1	
	収益状況	△27.1		△22.7		△34.8		△10.5		△33.3	
	雇用人員	△42.7		△45.4		△26.1		△68.4		△41.0	
来期の見通し	業況判断	△8.8		△9.0		△34.8		21.1		△17.9	
	売上高	△4.9		9.2		△21.7		21.1		△15.3	
	売上単価	△1.9		4.5		0		5.3		△10.3	
	資金繰り	△4.8		△9.1		△13.0		10.6		△5.1	
	借入難度	3.0		9.1		△13.0		21.0		0	
	収益状況	△14.5		△13.7		△34.8		5.2		△12.7	
	雇用人員	△38.9		△50.0		△17.3		△63.2		△33.3	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。  
 なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。